

スキンケアの起源とその進化

スキンケアの起源は、具体的な記録が不足しており、確定的なことは言えませんが、旧石器時代の人々が自然の中で生活していたとき、肌を洗浄し、保護するための基本的なスキンケアの形が存在していた可能性が考えられます。

彼らは自然の水源、例えば雨水や川の水を使用して肌を洗い、清潔に保つとともに、獣の脂を肌に塗り油膜を作り、暑さや寒さ、水分蒸散、異物侵入から肌を保護していたと推測されています。これは、肌を洗うや油膜を作る行為の原始的な形態であり、スキンケア製品を使って肌を洗うことで、暑さや寒さ、水分蒸散、異物侵入から肌を保護する近年 1960 年代までのスキンケア原理と同じです。

スキンケアの歴史は、人類の生活環境や技術の進歩とともに変化し続けてきました。そして、1960 年代には、現代で一般的に知られているスキンケアの「洗顔、化粧水、そして保湿」手順が多くの企業や研究者、特にコーセーとニベアによって開発されました。これにより、現代のスキンケアの目的は、「肌を清潔に保ち、肌を健康にする」から「肌を清潔に保ち、うるおいを与え、肌の見た目を一時的に美しくする」に大きく変わりました。

基本的なスキンケア製品としては、洗顔料、化粧水、美容液、乳液、クリームなどがあります。これらの製品は肌を清潔に保つ、水分を補給し、肌を柔らかくし、保湿する役割を果たします。しかし、これらの製品は肌の表面に塗ることで「肌の見た目を一時的に美しくする」ことが主な目的で、肌そのものを健康にする、つまり皮膚のバリア機能を正常に保つことを目指していません。本来の使用目的「肌を健康にする」からかけ離れ、使用目的が「メイク化粧品」と同じようになっています。

皮膚のバリア機能は、肌の健康を維持するために非常に重要な役割を果たしています。この機能が正常に働かないと、水分が蒸発しやすくなり、肌は外部からの刺激に対して脆弱になります。そのため、スキンケアの真の目的は、単に肌の見た目を美しくすることではなく、肌のバリア機能を保つことにより、肌そのものを健康に保つことです。

これがスキンケアの本質であり、その起源と進化を理解することで、私たちはより効果的なスキンケア方法を見つけることができます。「見た目の美しさをつくる」のは、「化粧」の領域であり、スキンケアとは異なる目的を持っています。